

じんけん ながさき



長崎県人権・同和問題啓発強調月間
11/11^月～12/10^火

 みんなの人権110番

 子どもの人権110番

 女性の人権ホットライン

0570-003-110 0120-007-110 0570-070-810

長崎県・長崎県教育委員会・長崎県人権啓発ネットワーク協議会
お問合せ: 長崎県人権・同和対策課 095-826-2585

長崎県人権・同和対策課

長崎県はV・ファーレン長崎、長崎ヴェルカと連携・協力し、人権啓発活動を行っています。



Respect!

- お互いが尊重できる社会へ -



2024年度作成ポスター

は じ め に

「温もりと心の豊かさが実感できる人権尊重社会の実現」、これは、「長崎県人権教育・啓発基本計画」（以下「基本計画」という。）で掲げる長崎県のめざす姿です。県では、この基本計画を平成１８年に策定し、これまでに３度の改訂を行いながら、人権が尊重される社会の実現をめざし、諸施策の推進に努めているところです。

しかしながら、依然として、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害のある人への差別や暴力、外国人や性的少数者などに対する偏見・差別等は未だに後を絶たず、さらに近年は、インターネット上の誹謗中傷や差別を助長する書き込み等の問題も顕在化しております。

人権問題の解決には、私たち一人ひとりが、日々の暮らしの中で起こっている人権問題に気づき、その問題の解決に向け、主体的に判断し行動していくことができるよう、効果的な人権教育・啓発が必要だと考えています。県としても、引き続き、国や市町、関係団体等と連携しながら、学習機会の充実や学習情報の提供などに取り組んでまいります。

本号においては、このような状況を踏まえ、第Ⅰ章では、人権教育・啓発の裾野を広げるための取組を、第Ⅱ章では、学校教育や社会教育の場面で人権学習を行う際に活用できる「持続可能な地域の人権教育・啓発推進リーダー養成・活用事業」の成果物を、そして第Ⅲ章では、皆様が人権について学んだり、相談したりする際に活用できるよう「人権・同和対策課（人権教育啓発センター）の事業等」の情報を発信することといたしました。

本資料が県民の皆様や人権教育・啓発に取り組む皆様、また関係機関・団体の活動の一助となれば幸いです。

令和７年３月

長崎県県民生活環境部人権・同和対策課長

目 次

CONTENTS

はじめに

I 人権教育・啓発の裾野を広げよう！

- 1 あなたが大切、私も大切・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 人権・同和教育指導者による出前講座の実践！・・・・ 4
- 3 人権出前講座、実施しています！・・・・・・ 6

II 持続可能な地域の人権教育・啓発推進リーダー養成・活用事業

- 1 令和6年度人権・同和教育指導者養成研修・・・・・・ 7
- 2 人権・同和教育指導者作成の人権学習プログラム
 - ①相談室へようこそ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
長崎県立長崎特別支援学校 教諭 林田 ちどり さん
 - ②平等って何？・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
人権・同和教育指導者 黒田 真紀 さん
 - ③避難所生活に必要なことは？・・・・・・ 15
人権・同和教育指導者 大岡 まゆ さん

III 人権・同和対策課（人権教育啓発センター）の事業等

- 人権教育啓発センターの紹介・・・・・・・・・・・・ 20
- ビデオライブラリー新規購入DVD情報・・・・・・ 22

I あなたが大切、私も大切

私は、人権・同和対策課の職員です。

先日、ある「子育て支援教室」に参加する機会をいただきました。この教室は、様々な環境の変化で、子育てに悩む親御さんが、民生委員さんに相談したことがきっかけで立ち上がったとのこと。結成されて、かれこれ三十年余りが経っているそうです。

傍で眺めていると、民生委員さんたちが、訪れるお子さんや親御さん一人ひとりに、「よう来たね。ありがとう!」「待ってたよ～」などと声を掛けながら、笑顔で温かく迎えておられました。互いが信頼関係で強く結ばれていることを感じる事ができました。これまでの実践の積み重ねの賜物だとも思いました。

この教室は、子育て座談会や郷土料理、地域巡りピクニックなど、子育て中の親御さんたちの思いや願いにそった多様なプログラムが準備されており、その回数は年十九回に及ぶそうです。目的・内容といった講師との調整や、子どもの見守りサポート等は民生委員さんが担っています。親御さんたちは、「いつでも相談ができたり、教室に参加したりできる環境があるから安心、みなさんと仲良くできるのも嬉しい。」などの感謝の言葉を語っておられました。

私は、親御さんたちの「安心」という言葉は、「よう来たね。ありがとう!」「待ってたよ～」から生まれているのではないかと思いました。悩みを抱える親御さんたちを丸ごと受け入れる土壌に裏付けされた、人を大切に想う言動が、人と人をつなぎ、不安や悩みをやわらげているのだと感じました。

当日のプログラムは、絵本の読み聞かせでした。子どもたちが親御さんの顔を見ながら一緒に笑ったり、その後、家でのお子さんとの過ごし方を互いに話し合ったりしていました。まさに、講師との出会いと対話を通して、参加者と講師、参加者同士がつながる姿を垣間見ることができました。参加者が、昨日までの自分に今の自分を重ね、感想を語り合う場面もあり、出会いと対話、振り返りが、仲間づくりと自分づくりにつながる学びの場となっていました。

I 人権教育・啓発の裾野を広げよう！

たった一日の参加ではありましたが、民生委員さんが、親御さんやお子さんの笑顔のために、自分たちに何ができるのか想像を巡らせ、親御さんたちの声に耳を傾け、想いに寄り添いながら、愛情いっぱい活動される姿に感銘を受けました。同時に、私に「学び」と「つながり」の意味を問い直す機会も与えてくださいました。そして、この「学び」と「つながり」を共に築いていくことが、温もりと心の豊かさを実感し、一人ひとりが輝き、県民のみなさんが輝く社会をつくることに繋がっていくのだろうと感じた次第です。

さて、私はこの出会いの後、この「子育て支援教室」で講師を担当させていただく機会を得ました。絵本の読み聞かせによるワークショップと人権講話でしたが、皆様のお力になれるよう、精一杯努めさせていただきました・・・

人権・同和対策課に所属して、2年目となりますが、はじめて「子育て支援教室」で人権の出前講座をさせていただきました。

十分な実践とはいかなかったかもしれませんが、民生委員さんと目的や方法を共有し、子育て支援に人権教育・啓発を届けるプラットフォームができたことに意義があったと思っています。また、子どもたちや親御さんの笑顔を想像しながら、人権教育・啓発のプログラムを考えることができたことが、自分自身の学びとなりました。

これからも、長崎県人権教育・啓発基本計画に掲げる「温もりと心の豊かさを実感できる人権尊重社会の実現」をめざして、皆様方との出会いを大切にしながら、出前講座の充実・実践に取り組んでまいりたいと思います。



2 人権・同和教育指導者による出前講座の実践！

人権・同和教育指導者とは？

人権・同和対策課が主催する人権教育・啓発に係る指導者養成研修を受講し、指導者として登録していただいている方です。

令和6年5月時点で、県内127名の方にご登録いただいています。教職員や行政職員、人権擁護委員、社会教育関係団体の方々などがいらっしゃいます。

そのような中、人権・同和教育指導者として登録していただいている方が、地域の方や学校関係者の方を対象に人権講話とワークショップに取り組んでくださいました。

ここでは、そのワークショップの実践を紹介したいと思います。

テーマは、「わたしのもちあじ」を考えるというものでした。

ねらいは、もちあじを認めてもらう「安心感」を味わい、

他の人のもちあじを「知ることの楽しさ」を味わうというものでした。

流れ(40分程度)は概ね次のとおりでした。

①今から「わたしのもちあじ」といったワークショップをします。

自分をつくっている大切な気持ちや行動、好きなこと、きらいなこと、

苦手なことなどを振り返りながら、自分自身を振り返ってみましょう。

そして、そのもちあじをグループで共有し、感じたことを出し合ひましょう。

②まずは、私自身のもちあじを考えてきましたので、みなさんに紹介します。

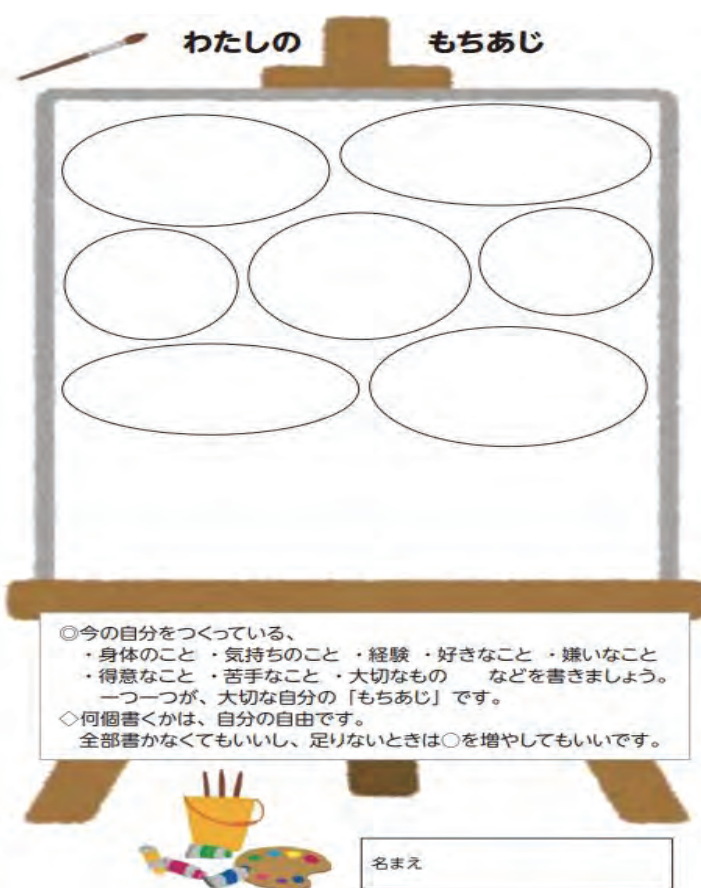
わたしのもちあじ(〇〇な自分)

- ・運動がすき。(サッカー)
- ・人の話を聞くのがすき。
- ・旅行がすき。
- ・料理がにがて。
- ・忘れっぽい。
- ・頼まれると断れない。

③では、今からワークシートを配付します。自分を振り返りながら、

〇の中に、自分のもちあじを入れてみましょう。

I 人権教育・啓発の裾野を広げよう！



わたしの もちあじ

◎今の自分をつくっている、
・身体のこと ・気持ちのこと ・経験 ・好きなこと ・嫌いなこと
・得意なこと ・苦手なこと ・大切なもの などを書きましょう。
一つ一つが、大切な自分の「もちあじ」です。
◇何個書くかは、自分の自由です。
全部書かなくてもいいし、足りないときは○を増やしてもいいです。

名まえ

※参考：じんけんながさき人権啓発資料30に掲載のワークシート

④ありがとうございました。ご記入いただいた内容をグループの中で、順番に出し合ってみましょう。（話したいこと、話せることだけで OK です）

【他の人のもちあじを聞いた参加者の主な感想】

- ・「へ～そうなんですね。知らなかった！」
- ・「それ、自分もにがてさね～」
- ・「楽しそうね～、自分もそれやってみたいな～」

⑤グループの中で、もちあじを聞いて、感じたことを出し合いましょう。
グループで出た意見も全体で共有してみましょう。

【参加者の主な感想】

- ・もちあじを出し合うことで、相手のことを深く知ることができた。
- ・それぞれにもちあじがあり、一人ひとり違うのがあたりまえだと感じた。
- ・自分のもちあじを認めてもらって、安心した。

自分のもちあじを知り、相手のもちあじを知ることを通して、安心して存在できる受容的な環境が育まれていました。また、一人ひとりの「ちがい」を大切にすることの重要性に改めて気付かせていただく機会となりました。

3 人権出前講座、実施しています！

人権・同和対策課では、本課職員や人権・同和教育指導者を派遣して、人権を正しく理解する出前講座を行っています。公民館や企業、社会教育関係団体、学校等の依頼を受け、どのような内容にするか希望を聞きながら、可能な限りニーズに応じた講座の実施に努めています。

今年度実施した主な講座は次のとおりです。

是非、人権を身近に感じていただく機会として、出前講座を活用していただければと思います。

<内容>

- 多様な性のあり方に関すること
 - こどもの人権に関すること（こども基本法）
 - ハラスメントに関すること（セクハラ、パワハラ…）
 - アンコンシャス・バイアスに関すること
 - 部落差別（同和問題）に関すること
 - 公正な採用選考に関すること
 - 人権に関する本課所蔵の絵本紹介
- 等

お申込みから実施までの流れは、次のとおりです。
みなさまからの御連絡をお待ちしております。

- 1 人権・同和対策課（教育研修班）へ電話で相談
【電話：095-826-2585】
- 2 日時や内容等を打ち合わせて調整（仮予約）
- 3 「講師派遣申請書」に記入して本課へ提出
- 4 研修実施



Ⅰ 令和6年度人権・同和教育指導者養成研修

○標記研修を本年度も次のとおり開催しました。

指導者の資質と意欲向上を図り、新たな登録者の増加をめざして、市町及び市町教育委員会の連携・協力のもと実施したところです。

○参加体験的学習を取り入れた実践的な内容であったため、参加者は、その都度、人権の大切さを実感しながら取り組める内容となっています。

大変わかりやすく、参加者からも好評をいただいています。

■各研修について

【A1 研修（3地区対面）】

（1）主な内容

参加体験型の人権研修を実施するためのファシリテーター養成

※講義、演習、講師体験、学習プログラム作成

（2）講師 桜井 高志 さん（桜井法貴グローバル教育研究所代表）

（3）開催期日及び会場

①令和6年7月23日（火）24日（水）大村市（中地区公民館）

②令和6年7月25日（木）26日（金）雲仙市（吾妻町ふるさと会館）

③令和6年8月 7日（水） 8日（木）五島市（五島振興局）

【A2 研修（上記3地区以外オンライン）】

（1）開催期日 令和6年8月23日（金）

（2）主な内容

オンライングループ協議を伴う学習プログラム作成

【B 研修（全地区オンライン 市町・市町教委人権担当者協議会を含む）】

（1）開催期日 令和6年12月17日（火）

（2）主な内容

実践報告、協議（人権・同和教育指導者と市町・市町教委担当者連携）

◎本研修による成果として、人権学習プログラムをP8～19で紹介しています。それぞれのお立場に合わせて、本プログラムの活用を図っていただけると幸いです。

◆長崎県では、人権教育・啓発に関する経験や知識、技能を生かして活動しようとする人を

長崎県人権・同和教育指導者

長崎県人権・同和教育マイスター

として登録しています。

2 人権・同和教育指導者作成の人権学習プログラム

①相談室へようこそ

■対 象：小（高学年）・中・高校生及び一般

■時 間：45分

■主な手法：ワークシートを用いたディスカッションなど

■ねらい

- ・相手の相談に乗り、その対応を考える体験をする。
- ・困っていることを解決するといった経験をすることで、自分自身の考え方に気づき、考え方の視野・視点を広げる。

■準備物：ワークシート、相談を投函するポスト

◇ 作成者：長崎県立長崎特別支援学校 教諭 林田 ちどり

■展開

| 学習活動（参加者） | 指導者（ファシリテーター等）の活動及び留意点 | 時間 |
|---|---|--------------------------|
| 1.アイスブレイク ○あいこじゃんけん | <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめにあいこじゃんけんをします。まず、みなさん立ちます。隣の人とじゃんけんをして、あいこが3回出たら終わりです。3回あいこになったら座りましょう。心を通じ合わせて、なるべく少ない回数で席に座れたらよいですね。では、はじめましょう」と伝え、全員起立させる。 ・最後まで残ったグループには「これだけ、違うようにじゃんけんするのも、楽しくなるひけつですね。素晴らしいコンビですね。拍手しましょう。」と、全員で拍手するように促す。 | 5分 |
| 2.アクティビティ ○説明を聞く。 ・アクティビティ「私たちの相談室へようこそ」についての説明を聞く。 ○相談への返事を考える。 ・ワークシートに自分の考えを書く。 ・前後左右、4人程度のグループを作り、書いた内容を開き合う。 ○グループごとに発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談は、ワークシートから1種類を選択する。 「みなさんは、今日、相談室の先生です。そこには、いろいろな悩みをもつ人がやってきます。みなさんは、相談室の先生になって、相談にのってあげましょう。」と伝える。 ・保健室のポストに入っていた相談として、ポストに見立てた箱から、相談用紙を取り出し、読み上げる。 ・ワークシートを配付する。 ・まず、自分で考えて、書くことを伝える。 ・相談内容に対して、質問がある場合は受け、質問に答える。 ・前後左右の4人グループを作り、記入したワークシートを伝え合うよう指示する。 ・4人が開き合いをした頃合いで、「ほかにアイディアがないか、話し合いましょう」と伝え、会話を続けるように伝える。 ・できるだけ、すべてのグループから発表してもらう。 ・時間を見て、発表のグループ数を調整する。 | 2分 20分 10分 |
| 3.振り返りワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りワークシートを配付し、「今日の活動についての感想を記入しましょう。」「今日の活動を通して、個人的にお話ししたくなかった人がいたら、遠慮なくお話にきてください。それは先生ではなく、相談しやすい人でいいですよ。」と伝え、終了する。 | 8分 |

ワークシート

1-A

わたしたちの相談室へようこそ

氏名

相談箱に、相談が入っていました

その① 「友達との関係に悩む、Aさん」

最近、仲の良い友達から無視されます。休み時間も、昼休みも、ずっと一人です。

周りの人がひそひそと私の悪口を言っている気がします。つらくて学校に行きたくありません。だけど、お母さんから「学校に行きなさい」としかられそうで、がんばって学校にきています。今まで、だれにも相談していません。毎日、とても不安です。私はどうしたらよいでしょう。



相談にのりましょう

～心がほっとする、前向きになれる言葉を考えてみましょう。～

- ① まずはじめに、相談した人にどんな声をかけますか？
- ② 相談した人は、「どうなったらいいな」と思っているでしょう。
- ③ さあ、どんなアイデアがあるでしょう。

ワークシート

1-B

わたしたちの相談室へようこそ

氏名

相談箱に、相談が入っていました

その② 「いつも忘れ物をする、整理が苦手な B さん」

ぼくは、いつも忘れ物をしてしまいます。今日は絶対に忘れないと思っても、宿題を忘れて、今日も先生から「また忘れたの？」と悲しそうな顔で言われて、宿題は、ちゃんとがんばったのに、ぼくは泣きたくまりました。プリントをお母さんに渡し忘れて、お母さんから怒られることもしょっちゅうです。いつも、いろいろな物を整理できないでいます。こんな自分が嫌になります。ぼくはどうしたらよいでしょう。



相談にのりましょう

～心がほっとする、前向きになれる言葉を考えてみましょう。～

- ① まずはじめに、相談した人にどんな声をかけますか？
- ② 相談した人は、「どうなったらいいな」と思っているでしょう。
- ③ さあ、どんなアイデアがあるでしょう。

ワークシート

1-C

わたしたちの相談室へようこそ

氏名

相談箱に、相談が入っていました

その③ 「好きな子の性別に悩む C さん」

好きな子ができました。女の子です。性格がとてもよくて、優しいです。私は、女の子だから、男の子を好きにならなくてはいけないかと悩んだけど、やっぱりその子が好きです。今度、告白しようと思います。だけど、その子はびっくりするかな？と悩んだりしています。女の子なのに、女の子を好きになる自分はどこかおかしいのでしょうか。気持ちを整理できません。私は、どうしたらよいでしょう。



相談にのりましょう

～心がほっとする、前向きになれる言葉を考えてみましょう。～

- ① まずはじめに、相談した人にどんな声をかけますか？
- ② 相談した人は、「どうなったらいいな」と思っているでしょう。
- ③ さあ、どんなアイデアがあるでしょう。

今日のふりかえり

おつかれさまでした。最後に振り返って終わりましょう。

○今日の活動を終えて、今、どんな気持ちですか。

当てはまる言葉に○をつけましょう。

物足りない

やや物足りない

ふつう

やや充実している

充実している

○今日の活動で感じたことを自由に書きましょう。

②平等って何？

■対 象：学校関係者、行政関係者、一般

■時 間：60分

■主な手法：参加型体験学習

■ねらい

- ・身近な運動会をもとに、「平等って何か」を考える。
- ・自分とは異なっている他者の意見や気付きに対して共感する。
- ・社会における機会の不平等について、どのように解決していくか考えるきっかけとする。

■準備物：2色の付箋、グループ討議用紙、振り返り用紙

◇ 作成者：人権・同和教育指導者 黒田 真紀

■展開

| 時間 | 全体の動き（プログラムの流れ） | ポイント |
|-----|--|---|
| 5分 | 1.ペアコミュニケーション ・ウォーミングアップとして、運動会の思い出や徒競走への思いを交代で出し合う。 | ・徒競走に限らず、運動会全般の思い出や自分が体験した運動会と最近の運動会の違いでもよい。 |
| 30分 | 2.徒競走のやり方について考える。 ①みんなが前向きになれるやり方は、どの小学校のやり方か意見を出し合う。（ペア） ②4つの小学校のやり方について、「良い点」、「課題」をそれぞれ2色の付箋に記入する。（個人） ③グループ討議用紙に付箋を貼りながら意見を出し合う。（3～4人のグループ） ④話し合った結果を全体で共有する。 | ・選んだ理由も話してもらう。 ・能力の差は差別なのか、特別措置が何のためにあるのかに触れながら意見を聞いていく。 |
| 15分 | 3.障害のある子も含めてみんなが前向きになれるやり方を考える。（グループ→全体共有） | ・障害の状況設定は各グループに任せる。 |
| 10分 | 4.振り返りを行う。 ・ペアで出し合った後、何人かに聞いて全体で共有する。 ・平等って何かについて公正と比較しながらまとめる。 | ・誰もが権利の主体者であるという考え方に触れる。 |

Ⅱ 持続可能な地域の人権教育・啓発推進リーダー養成・活用事業

ワークシート:「平等って何？」

| | やり方 | 良い点 | 課題 |
|---|-------------------------------|-----|----|
| A | ○名簿順の4人で走り、順位をつける。 | | |
| B | ○練習時のタイムと本番のタイムを比較し、がんばりを褒める。 | | |
| C | ○同じくらいのタイムの子どうして競い合う。 | | |
| D | ○タイムによって、スタート地点を4段階に差をつけて走る。 | | |

③避難所生活に必要なことは？

■対 象：子ども、学校関係者、行政関係者、一般

■時 間：４５分

■主な手法：ダイヤモンドランキング

■ねらい

- ・参加者との意見交流を通して、多様な価値観に気付いたり、自分自身の人権感覚を振り返ったりする機会とする。
- ・体験活動を実施する中で、傾聴や共感、協議しやすい環境、話し方などに関するスキルを身に付ける。

■準備物：ダイヤモンドランキング表（個人用人数分・グループ用大）
 ９つのカードセット×グループ数

◇ 作成者：人権・同和教育指導者 大岡 まゆ

■展開

| 活動内容 (参加者や対象者の動き) | 指導者・スタッフ等の活動 (人権の視点等での留意点や活動・連携) | 時間 |
|--|---|----|
| １.アイスブレーキング ○「私は〇〇派」をする。 | ○「私は〇〇派」について説明し、グループに分ける。 ・お題「好きな球技のチームから、あなたにスカウトがきました。自分ならどちらで活躍したい？どちらがより活躍できる？どちらの資質を見込まれた？」 A「選手」 B「マネージャー」 ・AとBに分かれてもらい、なぜそちらを選んだか理由も一言もらう。状況に応じて、ランダムに指名する場合もある。 ・選手とマネージャーが必ず入るよう、４～５人ずつのグループをつくる。 | ５分 |
| ２.アクティビティ ○「避難所生活に必要なことは？」についての説明を聞く。 | ○アクティビティについて説明をする。 ・避難所生活を想定し、「 <u>情報</u> 、 <u>食べ物・飲み物</u> 、 <u>衛生</u> 、 <u>睡眠</u> 、 <u>暑さ・寒さ</u> 、 <u>明かり</u> 、 <u>プライバシー</u> 、 <u>家族・なかま</u> 、 <u>忍耐</u> 」の９つから、自分が大切だと思う順番にランキングしてもらおう。(個人→グループ) | ５分 |
| ３.自分は何を１番大切にするのか、まずは個人でランキング表を完成させる。 | ○個人用のランキング表を１人１枚配る。９つの補足として、以下の説明をする。 ◇情報…ラジオや安否確認 ◇食べ物・飲み物…保存食・水 | ５分 |

Ⅱ 持続可能な地域の人権教育・啓発推進リーダー養成・活用事業

| | | |
|--|--|-----|
| | <p>◇衛生…トイレ・お風呂・歯磨き</p> <p>◇睡眠…しっかり眠って休める。質がよい</p> <p>◇暑さ・寒さ…適切な温度管理</p> <p>◇明かり…明るさや暗さの確保</p> <p>◇プライバシー…個人の空間</p> <p>◇家族・なかま…一緒にいられる・ペット</p> <p>◇忍耐…我慢できる・我慢する</p> <p>※ランキングが難しい場合は、上位3位と最後だけ入れてもらうように促す。</p> | |
| 4.個人でランキングができたなら、次はグループ内で意見を出し合い、意見をまとめてみんなでダイヤモンドランキングを完成させる。 | <p>○グループ用のランキング表と9つのカードセットを配る。作業に入る前に、グループ用のランキング表の下にある「話し合いのルール」を必ず読む。</p> <p>・話し合いの状況に応じて、サポートする。</p> | 15分 |
| 5.グループごとにランキングを紹介する。 | <p>○グループで工夫したこと、苦労したことなども含めて話すことを伝える。</p> | 10分 |
| 6.振り返りをする。 | <p>○グループで話し合い、その後全体で共有する。</p> <p>・活動を通してどんなことを考えたかを振り返る。</p> | 5分 |

備 考

★多くの人が集まっている避難所では、被災された方がおかれた状況が、今よりもっと大変になることが想像されます。そのような中、「主張する」「受け入れる」「合意する」といった視点を大切にしながら、対話を通して、お互いの理解が得られると、避難所での生活の改善が見込まれると考えます。

★参加者の中には、実際に被災された方がいらっしゃるということもあるかもしれません。

そのような状況も想像しながら、本プログラムの実践に臨みたいと思います。

★9つのカードは、目的や参加者に応じて変更しながら、行うこともできると考えます。

(個人用)

ダイヤモンドランキング表

| | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 🏆 1位 | | |
| <div></div> | | |
| 🥈 2位 | | 🥉 3位 |
| <div></div> | | <div></div> |
| 4位 | 5位 | 6位 |
| <div></div> | <div></div> | <div></div> |
| 7位 | | 8位 |
| <div></div> | | <div></div> |
| 9位 | | |
| <div></div> | | |

<やってみよう>

ひなんじょ
避難所で「自分が1番大切だと思うもの」を下の9つの中から選んでランキングに書きこもう

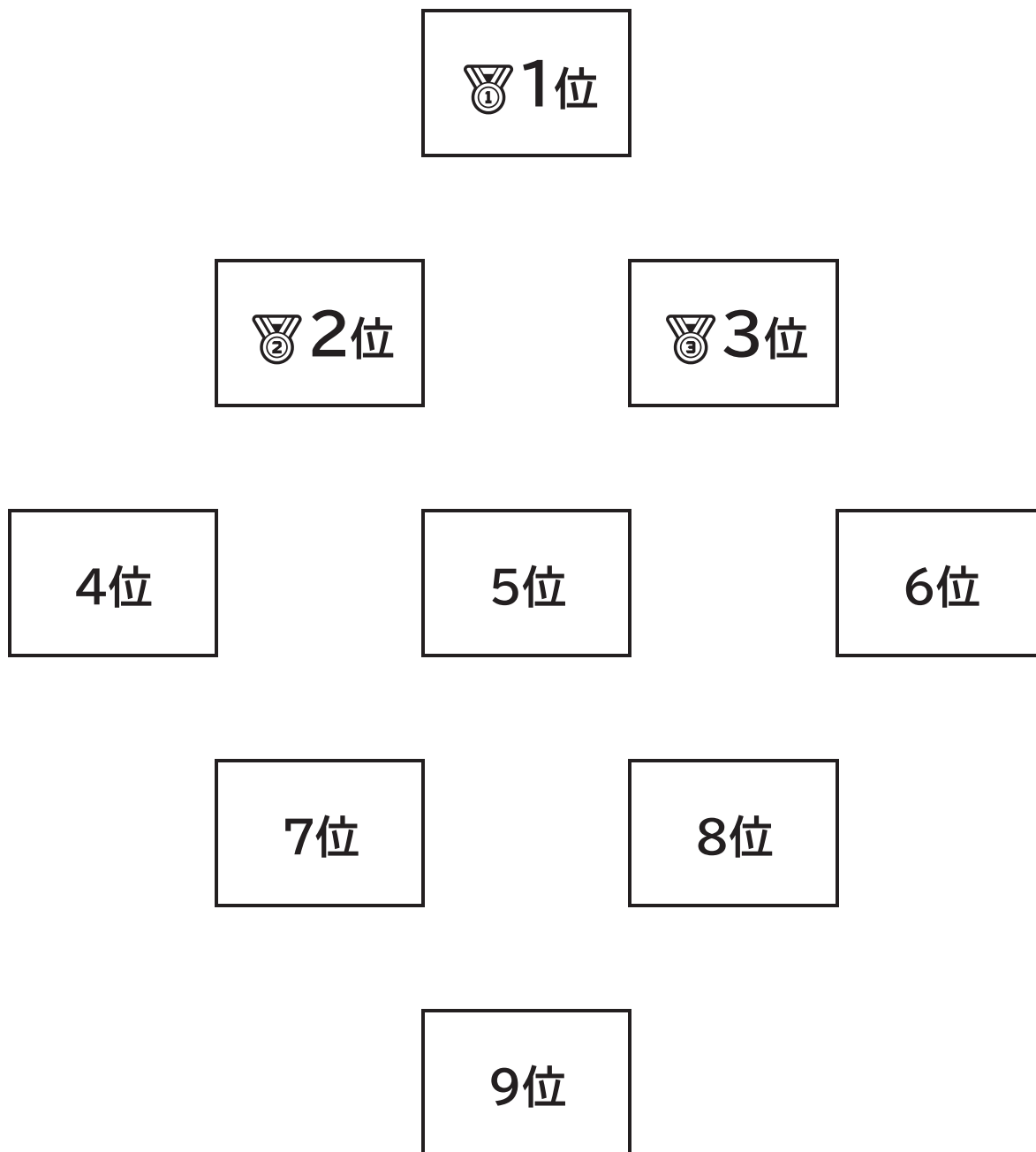
| |
|-------------|
| じょうほう 情報 |
| すいみん 睡眠 |
| プライバシー |

| |
|------------------------|
| たべもの ・ のみもの 食べ物・飲み物 |
| あつさ ・ さむさ 暑さ・寒さ |
| かぞく 家族・なかま |

| |
|------------|
| えいせい 衛生 |
| あかり 明かり |
| にんたい 忍耐 |

(グループ用)

ダイヤモンドランキング表



<話し合いのルール>

- ①多数決や平均値ではなく、話し合いで決定する。
- ②自分の意見を変える場合は、意見が変わった理由を話す。
- ③自分の考えに固執しすぎて、他の人を負かしたり傷つけたりするような発言はしない。
- ④少数意見を最初から無視して進めることがないようにする。

Ⅱ 持続可能な地域の人権教育・啓発推進リーダー養成・活用事業

| | | | | |
|------------|------------|------------|------------|----------|
| 役割 分担 | 役割 分担 | 役割 分担 | 役割 分担 | 娯楽 |
| 食べ物 飲物 | 食べ物 飲物 | 食べ物 飲物 | 食べ物 飲物 | 娯楽 |
| 情報 | 情報 | 情報 | 情報 | 娯楽 |
| 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 | 娯楽 |
| 衛生 | 衛生 | 衛生 | 衛生 | 相談 相手 |
| 忍耐 | 忍耐 | 忍耐 | 忍耐 | 相談 相手 |
| 暑さ 寒さ | 暑さ 寒さ | 暑さ 寒さ | 暑さ 寒さ | 相談 相手 |
| 明かり | 明かり | 明かり | 明かり | 相談 相手 |
| 家族 なかま | 家族 なかま | 家族 なかま | 家族 なかま | |
| プライ バシー | プライ バシー | プライ バシー | プライ バシー | |
| | | | | |

長崎県人権教育啓発センターの紹介

センターの設置目的

★一人ひとりの人権が尊重される長崎県づくりをめざす人権教育・啓発活動の拠点施設です。

- 人権問題に対する正しい理解と認識を深めるための広報・啓発活動を推進します。
- 社会教育関係者や企業・団体職員、行政職員などを対象にした教育・研修活動を推進します。
- 相談窓口を開設し、人権問題などの解決を支援します。
- 図書・ビデオライブラリーや情報収集・提供機能を活用した学習や研修活動を支援します。
- 交流・研修フロアの活用により、人権をキーワードにした交流と連携活動などを支援します。

県庁1階にあります



センターのご利用方法

- 利用できる時間：午前9時から午後5時まで
- 休館日：祝日、振替休日、年末年始（12月29日～1月3日）

◎図書・DVD（ビデオ）などの閲覧・貸出し（無料）

| 品名 | 貸出期間 | 最大貸出数（1回につき） |
|---------|-------|--------------|
| 図書 | 2週間以内 | 8冊 |
| DVD・ビデオ | | 5本 |

- ・県内在住の方、県内に通勤・通学されている方に、申込みにより貸出しを行います。
- ・最大貸出数は、男女共同参画推進センター所有の図書・DVD（ビデオ）を合わせた数です。
- ・DVD（ビデオ）は宅配での貸出しが可能です。（送料は利用者負担）



Ⅲ 人権・同和対策課(人権教育啓発センター)の事業等

◎ Ⅰ階協働エリア及び会議室等の貸出し（無料）

- ・人権に関係する団体やグループの会議、研修などに利用できます。（120日前から予約可能）

※利用される場合は事前に当センターへお電話ください。

- ・「Ⅰ階協働エリア」は、センター休館日以外に貸出しができます。
- ・「会議室」の貸出しは、センター開館日の土曜、日曜に限りです。



人権に関する相談窓口

- 095-826-5115（人権教育啓発センター） ※相談は無料
- 祝日・振替休日以外の毎日 9:00～17:00

- ・人権に関する悩みや、研修の企画・講師の紹介などの相談のほか、企業・団体等からの研修依頼も受け付けています。
- ・電話による相談もできますので、センターの電話番号へおかけください。（ただし、通話料は自己負担）
- ・人権に関する悩みなどの相談については、内容に応じて他の適切な相談機関を紹介するなど、解決のための支援を行います。（相談に関する秘密は厳守されます。）

その他の取組

◎LGBT相談デー（相談は無料 ※ただし、通話料は自己負担）

LGBT等の性的少数者の方やその家族、友人の方などからの悩みや相談に応じています。

- ・相談日時：毎月第3土曜日 9時30分～13時
- ・専門の相談員が対応します。
- ・相談に関する秘密は厳守します。匿名でも相談可能です。

<専用ダイヤル>
090-5939-5095

◎駅前じんけん講座、人権企画展

- ・年に2回、人権課題についての講座を開催しています。
- ・年に4回、様々な人権課題をテーマに企画展を開催しています。

※他にも様々な情報を、ホームページで紹介していますのでご覧ください。

長崎県人権・同和対策課

検索



ビデオライブラリー 新規購入DVD情報

◆ビデオ・DVD・図書の貸出について

県庁1階「県政資料閲覧エリア」にビデオ・DVD・図書を配架し、貸出しをしていますのでご活用ください。

***ビデオ・DVD・・・1回につき5本以内 *図書・・・1回につき8冊以内 *期間・・・2週間以内**

【来館の場合】

・県民センター受付（県庁1階）で、希望するビデオ・DVD・図書名を貸出申込書に記入し提出してください。

※相談等がある場合は人権・同和対策課が対応しますので、受付にその旨申し出てください。

※貸出しに際して、身分証等により本人確認をさせていただきます。

【郵送等の場合】（ビデオ・DVDのみ）

・長崎県人権教育啓発センター（人権・同和対策課内）までご連絡下さい。

※貸出・返却時の**送料は利用者負担**です。

長崎県人権教育啓発センター
長崎市尾上町3-1
電話:095-826-5115(2585)
FAX:095-826-4874



| 番号 | ビデオタイトル | 種類 | 分類 | 対象 | 時間 (分) | 内 容 |
|-----|------------------------------|-------------|-----|--------------------|-----------|--|
| 353 | いじめ ～それぞれの思い それぞれの言い分～ | D V D | ドラマ | 中学生 以上 | 23 | 近年、正義感ゆえの言動がいじめに発展してしまう事例が増えており、現代のいじめに「相手の非を許すことができない」「対話がないまま制裁的にいじめをしてしまう」といった構造が見受けられる。本教材では、被害者の事情、加害者の気持ち、傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に捉え、「晒し」や「ステメいじめ」といった、現代特有のいじめについて注意喚起している。 |
| 354 | うみとりくの からだのはなし | D V D | アニメ | 幼児・小学生 向け | 16 | 大事なことだけれど、なかなか話し合うのが難しい「からだの話」を、かわいらしい双子といっしょに、やさしくシンプルなことばで考える教材。性犯罪から身を守ることはもちろん、相手の体を尊重する態度を身につけるための、包括的性教育や生命の安全教育に最適な教材となっている。 |
| 355 | いつの間にか拡散 ネットに潜む部落差別 | D V D | ドラマ | 中学生 以上・一般 向け | 21 | 部落差別（同和問題）に関しては、SNSで「〇〇地区は、同和問題・被差別部落である」と書き込んだり、動画投稿サイトでは、特定の地域を撮影した動画に「ここは被差別部落であった」という旨のテロップやナレーションを入れて公開したりする行為が増えて、大きな社会問題となっている。この作品では、インターネットに潜む差別意識を解消するにはどのような対策を講じるべきかを示し、部落差別に負けない力をつける必要性を訴えている。 |



じんけん ながさき

(人権啓発資料34 人権・同和教育と啓発をすすめるために)

令和7年3月発行

発行 長崎県県民生活環境部人権・同和対策課

〒850-8570 長崎市尾上町3-1

TEL 095-824-1111 (内線2323)

直通 095-826-2585

この印刷物は、再生紙で作られています。